

第61次南極観測隊にインタビュー



たどめけんすけ 田留健介さん

- ・埼玉県自然学習センター、東京農業大学 学術情報課程 非常勤講師。
セールロンダーネ山地 陸上生物調査チーム担当。
好きなものは植物観察、剣道（現在四段）



南極観測隊に参加したきっかけはなんですか？

昔から、北極や南極に興味がありました。大学時代に菌類、特に地衣類を勉強している時に「南極は地衣類がたくさんある」ということを知り、小さいころの南極への憧れが再燃。チャンスがあれば、観測隊に挑戦しよう！と思っていたところに、極地研究所からお声掛けいただきました。また、私は環境教育に従事しているため、生きものって面白いな！自然ってすごいな！をたくさんの方に伝えていきたいと考えています。そして、そんな魅力を伝えるには、まず自分が生きものや自然について学び、楽しく研究することが大切です。不思議がいっぱいの南極に行けば、きっとこれからの教育活動に活かせると思い、参加を決めました。



第61次隊ではどんな研究や仕事をされるのですか？何が楽しみですか？

ベルギー基地に滞在しながら、セールロンダーネ山地の地衣類とコケ類のサンプリングを行います。一見すると、生命の息吹を感じることはできない荒涼とした岩山ですが、ベルギー基地周辺だけでも20種類を超える地衣類の生育が確認されているため、未確認の種類がまだあるのではないかと思います。我々は、基地周辺だけでなく、山地の北西部を中心に調査を行います。果たして、どれだけの地衣類が見つかるのでしょうか？他にも、ドローンや空気中のカビを集める機器を持ち込んで、多角的に生物調査を展開する予定です。さらに楽しみなのは、キャンプでの調査です。

基本的に調査は基地から日帰りで行いますが、天候に合わせてキャンプをし、山地の内部へ足を運ぶ予定です。南極の岩山で、テント泊をしながらの調査…いかにも“探検”のようでワクワクします！



【自然観察会の様子】



一言メッセージをお願いします！

南極は「未知」がたくさんつまった秘境です。そして、その未知の世界に挑戦する熱い人たちが南極観測隊です！ぜひ、南極・北極科学館の展示をご覧ください、その熱い想いを感じてください！